

中世ヨーロッパ論述対策

問1 アタナシウス派の分裂について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

ギリシア正教会 首位権 レオン3世

問2 イスラーム勢力の西欧侵攻からカールの戴冠までの経緯について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

カール=マルテル ラヴェンナ

問3 9～11世紀のイギリスの王朝交代について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

ウィリアム クヌート 七王国

問4 フランク王国の解体から神聖ローマ帝国の成立まで、以下の語句を用いて120字以内で説明せよ。

マジヤール人 ロタール

問5 ローマ帝国の解体で形成された西欧の諸制度について、以下の語句を用いて120字以内で説明せよ。

恩貸地制 コロヌス 賦役 封土

問6 十字軍派遣の背景と、第1回十字軍の展開について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

イェルサレム王国 クレルモン 相互破門

問7 第4回十字軍について、以下の語句を用いて60字程度で説明せよ。

インノケンティウス3世 東方貿易

ラテン帝国

問8 中世西欧における都市の自由について以下の語句を用いて60字以内で説明せよ。

自治権 農奴

問9 神聖ローマ皇帝のイタリア政策とその影響について、以下の語句を用いて、字以内で説明しなさい。

フリードリヒ1世 大空位時代 領邦

問10 11世紀以降のシチリア島の歴史について、以下の語句を用いて120字以内で説明せよ。

シチリアの晩鐘 ノルマン人 フリードリヒ2世

問11 中世ドイツにおける皇帝権と諸侯との関係について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

イタリア政策 領邦 大空位 選帝侯

問12 フランス王権と教皇権との関係について、次の語句を用いて120字以内で説明せよ。

アヴィニョン 大シスマ 三部会

問13 フス戦争の背景と経緯について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

教会大分裂 教皇権 コンスタンツ

問14 イギリス議会の成立について、以下の語句を用いて、90字以内で説明せよ。

シモン=ド=モンフォール

ジョン王 模範議会

問 15 百年戦争の原因について、以下の語句を用いて、60 字程度で説明せよ。

ヴァロワ朝 ギエンヌ 毛織物

問 16 レコンキスタの経緯について、以下の語句を用いて、120 字以内で説明せよ。

カール大帝 トレド 西ゴート ベルベル人

中世ヨーロッパ論述対策・解答例

問1 イスラーム教徒に対抗してビザンツ皇帝レオン3世が聖像禁止令を發布した。ローマの首位権を主張する教皇はこれに反発し、教皇に従うカトリック教会と、皇帝に従うギリシア正教会に分裂した。(89字)

問2 フランク王国の宮宰カール=マルテルがトゥール・ボワティエ間の戦いでアラブ軍を撃退。ピピンはイタリア遠征でラヴェンナ地方を教皇に寄進。カールはランゴバルド王国を滅ぼし、西欧を統一した。(90字)

問3 アングロ=サクソンの七王国をエグバートが統一。クヌートのデーン朝の支配を経て、ノルマンディー公ウィリアムがアングロ=サクソンのハロルド王を倒し、ノルマン朝を開いた。(82字)

問4 ヴェルダン条約で3分割、メルセン条約でロタール領が東西に分割された。東フランクではザクセン公がドイツ王に選出され、マジャール人を撃退したオットー1世はイタリアに遠征し、戴冠した。(89字)

問5 ローマ末期の恩貸地制とゲルマン人の従士制が結合して封建制が成立、主君は臣下に封土を与え、軍役を課した。ローマ時代のコロヌスを起源とする農奴を領主が保護し、賦役貢納を課した。(86字)

問6 東西教会の相互破門後、セルジューク朝に敗れたビザンツ皇帝が援軍を要請。教皇ウルバヌス2世がクレルモン宗教会議で派兵を提唱、フランス諸侯を主力とする十字軍がイェルサレム王国を建てた。(90字)

問7 教皇インノケンティウス3世が提唱、フランス諸侯が主力となった。エジプトとの東方貿易で栄えるヴェネツィアが海上輸送を担当し、競合するコンスタンティノープルを攻略、ラテン帝国を建てた。(90字)

問8 都市は国王・皇帝から自治権を認める特許状を獲得、領主から独立した。都市に逃亡した農奴も1年

と1日後には自由身分となった。(60字)

問9 皇帝フリードリヒ1世はイタリア統一を求めて出兵するが、ミラノを中心とするロンバルディア同盟に敗北。皇帝不在のドイツでは大諸侯が実権を握り、大空位時代に帝国は領邦への解体が進んだ。(89字)

問10 アラブ人を破ったノルマン人が両シチリア王国を建てた。のち神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世が王位を兼ね、アラブ人を官僚とする中央集権国家となった。13世紀、仏軍が占領し重税を課すと、住民はシチリアの晩鐘を起こして仏軍を排除し、アラゴン王を招いた。(120字)

問11 シュタウフェン朝のイタリア政策が失敗した後、皇帝不在の大空位時代が続き、領邦の自立が進んだ。ベーメン王から皇帝に選ばれたカール4世は、金印勅書で7人の選帝侯に皇帝選挙権を制限した。(90字)

問12 聖職者課税問題で対立、国王フィリップ4世は三部会の支持を受け、アナーニ事件で教皇ボニファティウス8世を捕え、次の教皇をアヴィニョンへ移した。その後、ローマとアヴィニョンで教皇が擁立されて対立する大シスマとなり、教皇権の失墜は決定的となった。(120字)

問13 プラハ大学のフスが教皇権を否定すると、皇帝ジギスムントがコンスタンツ公会議で教会大分裂を解消し、フスを火刑にした。これに反発したベーメンのフス派が蜂起し、皇帝に対して抵抗を続けた。(90字)

問14 ジョン王はマグナ=カルタで貴族の課税承認権を認めた。ヘンリ3世の専制に対し、シモン=ド=モンフォールが市民代表を加えた最初の議会を開き、エドワード1世の模範議会で制度化された。(87字)

問15 ワイン工業のギエンス地方、毛織物業のフランドル地方を英仏が争奪。カペー朝の断絶後、ヴァロワ朝と英王エドワード3世が仏王位を争った。(65字)

問 16 ウマイヤ朝の西ゴート王国征服後、フランクの
カール大帝は後ウマイヤ朝に反撃し、スペイン境界領
を置いた。カスティリヤ王国はトレドを攻略、アラビア語

文献のラテン語訳を進めた。のちベルベル人の侵攻
を撃退し、アラゴン王国と合併してナスル朝を滅ぼし
た。(120 字)